

2021/9/30

# リトルハウス通信

今月のリトルハウス通信は「ボッチャ・レクリエーション」のお話をしたいと思います。

リトルハウスでは今年4月より、定期的に障害者スポーツとして有名なボッチャのレクリエーションを行っています。

ボッチャのルールは、各自（及び各チーム）が球を6個ずつ投げ、白い目標球である「ジャックボール」にどれだけ近づけることができるか、というカーリングととてもよく似たルールのスポーツです。

これがやってみるとシンプルでありながらとても奥が深く楽しい！

リトルハウスでボッチャレクを行ったのは今回で3回目となり、レクリエーション参加者は合計で16名となりました。

利用者の皆さん、職員、ボランティアで来て下っているレクリエーション指導員の方、当法人の理事や大学の先生方等々が参加し、みんな夢中でゲームに熱中し、楽しむことができたと思います。

ちょうど8月から9月に東京パラリンピックでボッチャが行われ、杉村英孝選手が金メダルを獲得した事で、リトルハウスのメンバーの中にもボッチャに注目していた方々が多くいたのも盛り上がった要因のひとつだったのではないのでしょうか。

レクに参加するニーズは人それぞれに違います。

レクを通して他の人たちとおしゃべりをしたい人やボッチャそのものを競技として真剣に挑みたい人、身体を動かしてストレスを発散したい人と様々です。

それぞれのニーズがある中で、ボッチャレクの素晴らしいところは、メンバーの作業中には見れない表情に出会えることや、いい投球ができた時、敵味方関係なく、みんなで拍手し、その投球を称えるところです。そういう意味でボッチャは、とても平和的であり友好的な競技だと思います。

そんなボッチャレクは、リトルハウスにとって、年齢や立場を超えてみんなが笑顔になれ

とても大切な行事です。

そしていつの日か、リトルハウスでポッチャチームを作り、大会に参加したい夢を抱いたりしています。まだまだ遠い夢の話かもしれませんが…。

それではいくつか、ポッチャレクの様子を写真でご紹介致します。地域の皆さまも興味がありましたら、是非我々と一緒にポッチャレクに参加して下さい！  
(鈴木)



